

TOPPAN

小中学校向けデジタル学習サービス

ナビマ  
navi ma<sup>®</sup>



キッズデザイン賞  
を受賞!

子どもたちの創造性と  
未来を拓くプロダクトデザイン、  
教育現場における活用実績などが  
高く評価されました。

「学びたい!」があふれだす。

個別最適な学びを支援する5教科のデジタルドリル (AI型ドリル) +  
協働的な学びを支援する探究コンテンツおよび学び合いの機能により、  
子どもが「主役」のまなびを実現するデジタル学習サービス

# 「正解のない時代」を生きるために必要な力を養う、 デジタル学習サービス「navima(ナビマ)」



まなびは、  
navimaで進化する。

急速に進むデジタル革新、感染症の流行、  
ワーク・ライフスタイルの変化など先を見通せない時代。  
子どもたちは、これまで以上に身の回りで起きている  
出来事に対して、自ら課題を立て、解決方法を導いていく力が  
求められています。

未来を生き抜く子どもたちの糧になる学びを—  
その思いからnavimaは生まれました。

navimaを通して、子どもたちは到達度を確認しながら、  
自分で決めた目標に向けて思い思いに学習。  
ときには観察や実験を通じて得た気づきや問いを  
クラスメイトと共有することも。

一方、先生は子どもたちの様子を自分の目と耳とデータで確認、  
ときには子どもたちに寄り添い、ときには励まし、  
クラス全体をオープンで積極的な学びの空気で  
満たしていきます。



個別最適な学びを支援する  
マイドリル



学びに  
向かう力

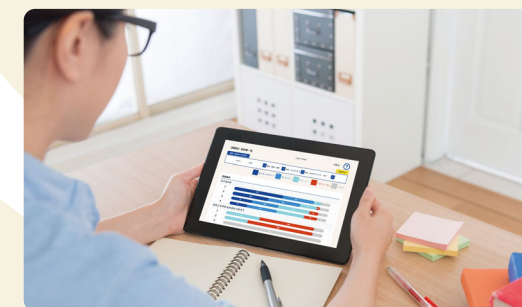
「知識・技能」の効率的な習得を支援。子ども一人ひとりに合った問題を出題し、解説や解説動画を使って自分一人で問題を解き進める力を養います。

協働的な学びを実現する  
学び合いツール



「思考力・判断力・表現力」を育む探究学習を支援。自分の意見を発信したり、クラスメイトの考え方に触れたりする中で、より学びを深めることに役立ちます。

子どもの学びを支える  
先生用管理ツール



知識  
技能

思考力  
判断力  
表現力

個人・クラス全体の進捗をひと目で確認でき、  
課題の配信や採点ができるため、授業内外の  
業務を効率よく進められます。

navimaはデジタルドリル、協働学習支援ツール、授業支援ツールを  
1つにしたデジタル学習サービスです。子どもたちが主体的に取り組むことで、  
生きる上で必要な3つの力をサポート。真の学力を育みます。

# 一人ひとりに最適な学びを提供する マイドリル

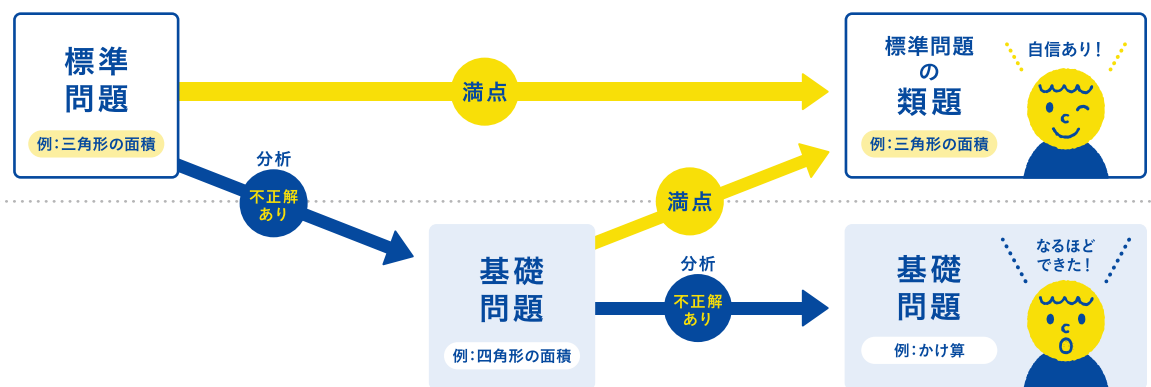
一人で解くことをサポートする機能を搭載。

自分で最後まで解けた達成感と成功体験が、学びの楽しさを定着させます。

## AI型ドリル

一人ひとりに最適な問題を  
瞬時に自動出題

つまづきに応じて、瞬時に最適な問題を出題。単元や学年をさかのぼり、最適な基礎問題が出題される「戻り学習」により、苦手克服をバックアップします。



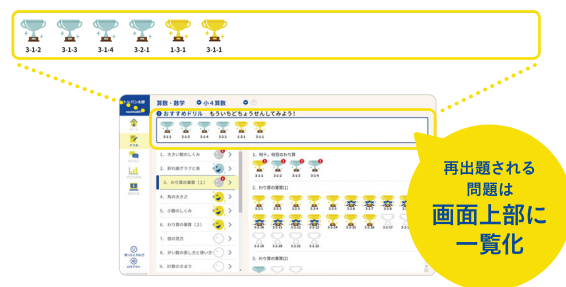
教科書に準拠した7万問以上を収録

採択されている教科書通りに、単元の順番を表示。学校の学習進度に合わせた、予習・復習、テスト対策が効率的に行えます。

一度解けた問題も、忘れた頃に再出題

満点を取った問題も忘れる頃に再出題して、反復学習。理解するまで繰り返し学習することで、記憶定着を促します。

小学校・中学校の主要5教科を搭載



## がんばりの可視化

「がんばり」が可視化され、  
学びのモチベーションをアップ

日々のがんばりをグラフなどでビジュアル化。自分の達成度をいつでも簡単に振り返ることができます。また、がんばりに応じてコインやトロフィーを獲得でき、学習意欲がより高まります。



「今、やるべき学習」が  
ひと目でわかる

未提出の課題や宿題がひと目でわかり、今やるべき学習を表示。子どもたちは迷わずに一人で学習を進められます。

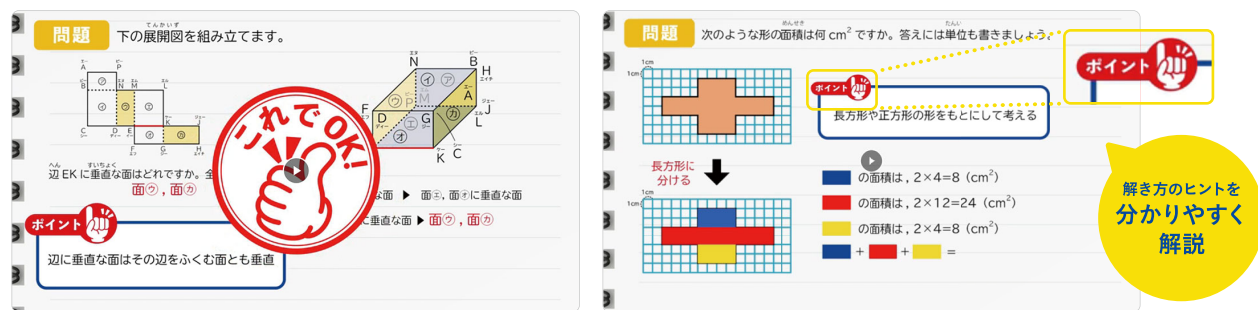


## 解説動画

※算数・数学

見て、聞いて。やさしい解説で  
疑問点をすぐに解消

カラービジュアルを使ったわかりやすい動画解説で、子どもたちの理解を促進。自分一人で問題を解き進められるので、宿題だけでなく、長期休暇時における家庭学習でも効果を発揮します。



2023年12月より順次配信

## 手書き解答・メモ機能

これまでと変わらない  
リアルな書く学び

手書き解答機能を搭載。国語の漢字など、書くことが大切な問題も手書きで解答できます。また、手書きメモ機能を使って、算数・数学の途中式などを残すこともできます。先生画面からもメモを確認できるため、よりきめ細やかな指導が行えます。



キーボード入力もできます(漢字書き取りなど一部の問題を除く)

# みんなで一緒に取り組む学びを実現する 学び合いツール

一人ひとりが自ら考え発信する一方、クラスメイトの考えを参照することで、自分では発見できなかった新たな気づきを獲得します。

## 提出物の作成・編集

配信から提出までを、navimaで完結

先生は授業ごとにオリジナルの課題などを設定可能。課題や宿題などを設定・配布することで、子どもたちの画面に「提出物」として配信され、子どもたちはその課題・宿題に取り組み、navima上で提出できます。



## 提出物の成績

協働学習の学習評価を残せる

課題を配信する際に、「観点」を設定可能。観点を設定すると、その課題の評価に応じて、成績表が自動で生成されます。

通し番号	出席番号	観点	知・技・意・情・態度	達成度	観点計	知・技・意・情・態度
		クラス最高	60		20	
		クラス平均	20		0	
		クラス最低	0		0	
		標準偏差	20		20	
		全提出物の平均	5		5	
		全提出物の作成数	1		1	
1	1	4期生第1	0		0	
2	2	4期生第2	0		0	
3	3	4期生第3	0		0	
4	4	4期生第4	20		20	

## 提出物の状況確認

児童生徒の回答を一覧表示

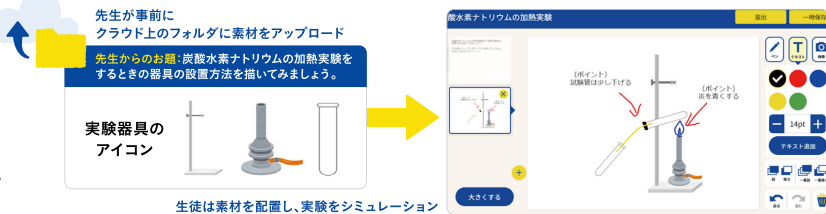
子どもたちの回答を一覧で確認でき、先生からコメントや採点をつけることができます。

The screenshot shows a grid of student answers for a math problem. Each cell contains a student's name and their answer, along with a score and a comment icon. For example, student 8111 has an answer of 2 and a score of 4.

使い例 中学生理科

## 実験シミュレーションを行う活動

画像を自由に配置し実験のシミュレーション。ポイントの書き込みも可能。



## みんなの答え

クラスの意見を共有できる 学び合いツール

「いいね」やコメントが付けられ、クラスメイトと一緒に学びを進める楽しさを体験。学びの意欲アップや継続につながります。

## 探究コンテンツ

すぐ使える! navimaオリジナル 探究コンテンツ

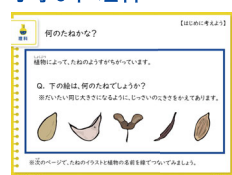
理科・社会の授業で利用できる探究コンテンツ(問いカードとファシリテーションシート)を搭載。すぐに授業で使え、協働学習の準備に割く時間を軽減します。

### 問いカード

学習内容への興味を高める、問い形式の教材

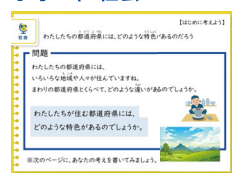
問いカードの一例

小学3年 理科



手書きで書き込める 図表カード

小学4年 社会



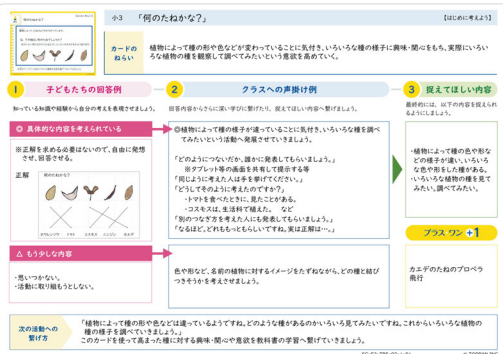
自分の考えをまとめる

### ファシリテーションシート

活動の流れをサポートする先生用教材

※一部問いカードのみに対応

ファシリテーションシートの一例



クラス内の意見交換も活発化



生徒 8111 引き算の考え方は思いつかなかった!

コメント

生徒 8113  
生徒 8111  
生徒 8115

いいね

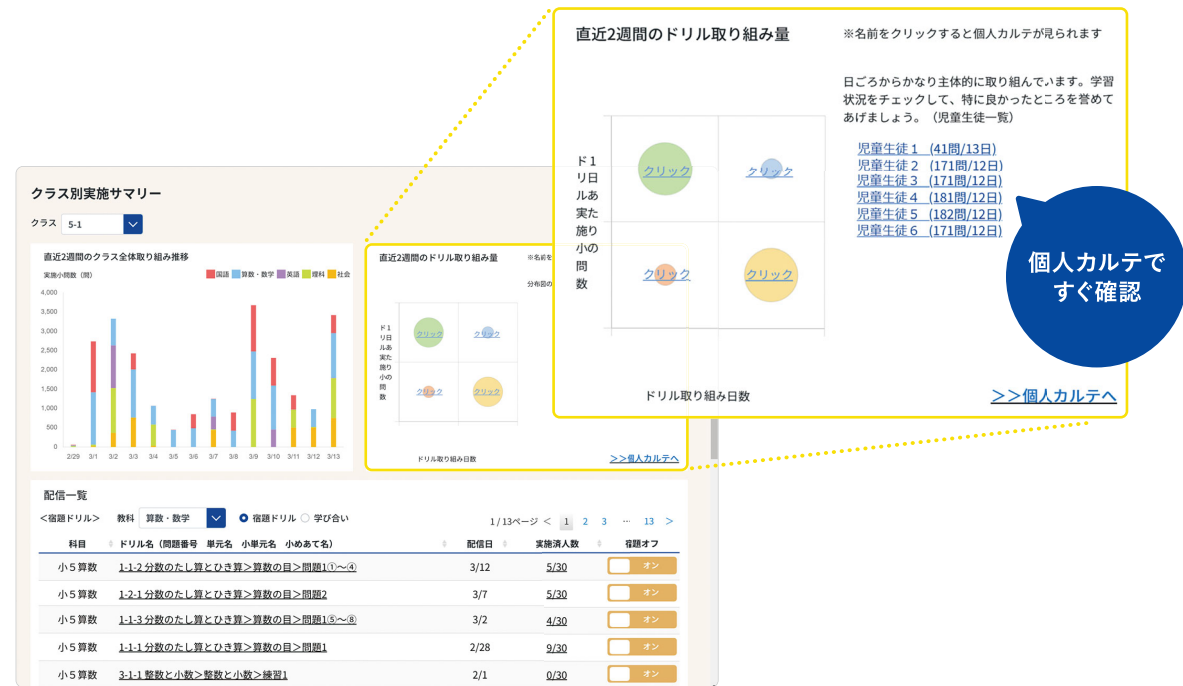
# 子どもたちの学びに寄り添い、見守る先生用管理ツール

各種の機能により先生の働き方をサポート。業務をnavima上で完結させ、業務効率化することで、子どもと向き合う時間を増やします。

## クラス別実施サマリー

クラスの取り組みをひと目で確認

ログインしてすぐに、クラスの直近の取り組みがひと目でわかります。個別フォローが必要な児童生徒もすぐに探せます。



## 問題別・個人別習熟度

学習データをリアルタイムに可視化

クラス全体だけでなく、個人単位でも正答率・学習時間を瞬時に一目で把握でき、机間指導などに活用できます。達成順に児童生徒を並び替えるので、いち早くつまづいている子を見つけ出し支援することができます。蓄積した学習データはExcelダウンロードも可能です。



## 個人カルテ

一人ひとりの学習データを可視化

教科ごとやドリルごとの正答率や取り組み時間がわかります。グラフやレーダーチャートから個人の得意・苦手の傾向をつかむことができ、面談資料にも最適。



## 宿題設定

持ち帰り学習がスムーズに

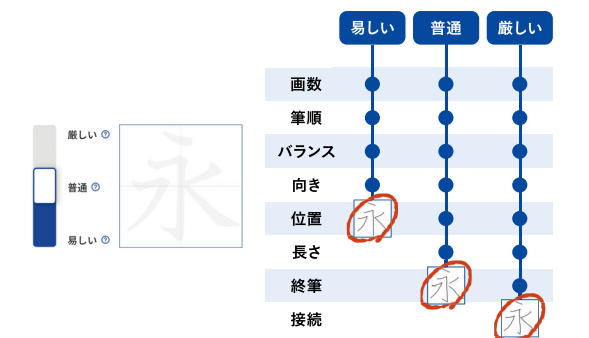
単元・小単元・めあて単位で宿題配信。子どもたちが宿題をやったか、やっていないかもひと目で確認できます。



## 書き取り採点設定

漢字はクラスごとに採点基準を変更可能

漢字書き取りの採点基準は「厳しい」「普通」「易しい」の3段階。この基準はクラスごとに変更できます。



# ただ今navimaで成長中!

## navimaの利用シーンと活用事例のご紹介

navimaは場所や環境に関係なく、さまざまなシーンで利用可能。  
朝学習や授業の演習時間だけでなく、  
家庭学習でも活用できます。



この他にも導入事例多数!詳しくはnavimaナビをご覧ください。

### 導入事例 鹿児島県鹿児島市立谷山小学校



## すき間時間を有効活用して 効率的に記憶定着

活用シーン 授業時間 活用学年 小学5年

活用方法 マイドリル

活用状況 知識や技能をしっかりと定着させた後の演習として、navimaを活用。その一方で、自分のペースで学べるnavimaは、保健室登校をしている児童に対しても、学びに向かうきっかけづくりとして一役買っているそうです。



先生の声

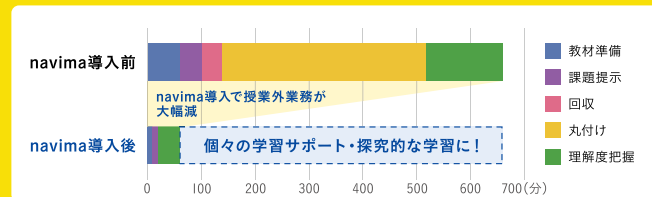
navimaは自動採点により、個々のペースで、テンポよく多くの問題に取り組み、効率よく習熟を図ることができていると感じます。また、プリントでは取組みが早い・学習が得意な児童に発生していた「待ち時間・空き時間」も、navimaなら当該学年以外の問題にも向き合えます。そのため、待ち時間、空き時間を学び直しに充てられ、児童の力になっています。



遠山先生

## “先生の働き方が変わると、学びはもっと進化する”

プリント問題の印刷、配布、回収、丸付け…  
navimaは膨大な授業外業務を徹底的に効率化。  
空いた時間を観察や実験、総合的な学習など  
子どもたちと向き合う時間に充てられます。



## 例) 授業でのnavimaの使い方

navimaは授業の色々な場面で使うことができ、  
子どもの意欲を伸ばす仕掛けが多く盛り込まれています。

### 子どもの考える力を伸ばす 「授業の導入」

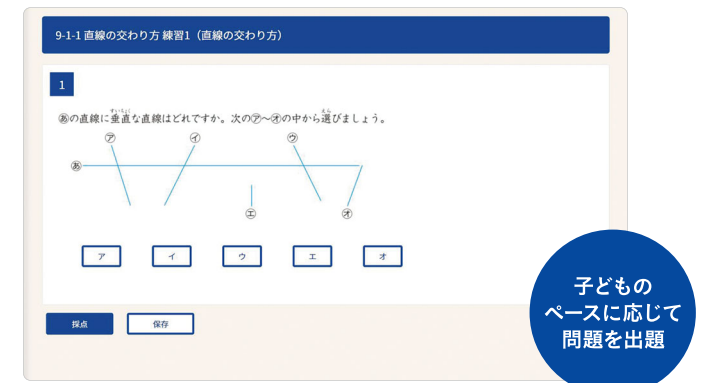
先生が出した課題に対して子どもが回答でき、集まった回答を確認することが可能です。また子どもたちもクラスメイトの回答をみることで、様々な意見にふれることで考える力を育成していきます。



協働学習支援ツール **学び合いツール** を活用

### 自分のペースで進められる 「演習時間」

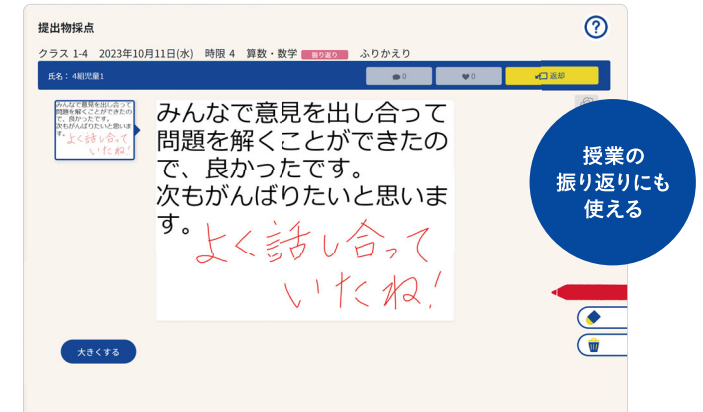
それぞれの子どものペースに合わせて進めていくことができます。分かった子は問題を解き進め、分からなかった子は動画で復習するなど、自分に合った方法で学びに向かうことができます。



デジタルドリル **マイドリル** を活用

### 学びを定着させる 「授業のまとめ」

授業のまとめや家庭学習でも使えます。先生は課題を配信して、授業の理解度を確認したり、学んだ単元のドリルを配信したりnavima上で手軽に宿題を提示することが可能です。



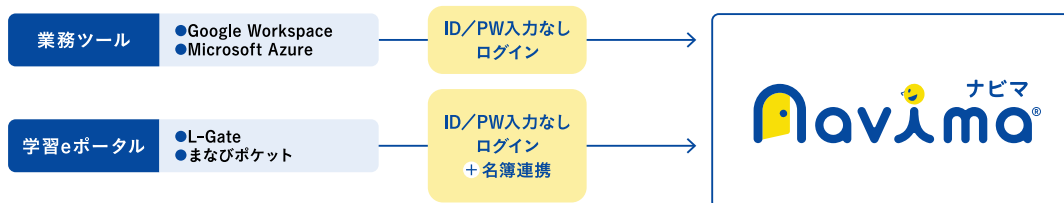
**学び合いツール** **マイドリル** を活用

# お困りのときも、しっかりサポート！

navimaの使い方・不具合などについては、安心のサポート体制を整備しております。  
詳細についてはWebサイトまたはサポートデスクにお問い合わせください。

## SSO連携/API連携

各社アカウントとSSO連携をしており、IDやパスワードの入力なしでログインできます。また、学習eポータルとはアカウント/名簿連携を行っているため、転出入時のアカウント管理作業、年度更新作業が不要です。



## 2 研修会

子ども側の使い方や先生側の基本操作がわかる導入研修や、学習データを用いた授業の進め方がわかる活用研修を開催します。

## 3 サポートデスクの設置

navimaでは電話窓口とメール窓口をご用意しており、お問い合わせに迅速に対応いたします。

## 4 ICT支援員派遣

有償オプション

navima専用の支援員を利用開始時期に集中的に派遣し、各学校現場で研修会開催や授業中の操作をサポートします。

- 各学校の要望に応じて、研修会開催および授業中の操作支援を行います。
- 活用状況に応じた適切なサポートを行います。

## 推奨環境



端末	OS	画面解像度	ブラウザ
PC	Windows10 Windows11	1280×800以上	Google Chrome Microsoft Edge
iPad	iPadOS13以上	※iPadの仕様に準ずる	Safari
Chromebook	Chrome OS	1366×768以上	Google Chrome

※ ブラウザおよび、Excelは、開発元サポートが終了した場合、推奨環境対象外となります。 ※ 管理者は Microsoft Excel 2016以上を、一部登録機能で使用します。  
※ 表記のOS、ブラウザは2024年10月時点の最新バージョンを想定しています。

Windows、Microsoft Edge、Excelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

iPad、iPadOS、Safariは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。 Google Chrome、Chromebook、Chrome OSは、Google LLCの商標または登録商標です。

navimaに関するお問い合わせはこちら

TOPPAN 株式会社

support@navima.jp 0120-505-271  
受付時間/10:00~17:00(土曜・日曜、祝祭日・年末年始を除く)



Webサイト

TOPPAN EDUCATION

<https://solution.toppan.co.jp/education/service/navima.html>



navimaの活用支援サイト

navimaナビ

<https://navi.navima.jp>